

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(公表)
事業所名 あいな園

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善項目、工夫している点など
環境・体制等	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・スペースについては、児童の成長ともにかなり手狭に感じる事もある。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・基準配置以上の職員配置は行っているが、1対1以上の支援が必要な場合も多々ある為、常に安定した職員配置をできるようにしていきたい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・玄関外側が階段である為、スロープを設置を目指していく。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		・浸透しなければいけない事だが、月1回の職員会議などで情報共有し児童に対しての支援内容も検討し、統一した支援を目指す。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意思等を把握し、業務改善につなげているか	○			・貴重なご意見・ご要望については真摯に受け止めて、改善できるように努めていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・法人HPにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・現在の所、第三者による外部評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・主にオンライン研修を取り入れていき、全職員が必要に応じて実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・保護者面談時にアセスメントを行い、個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・現在はアセスメントツールの使用がないため今後は導入していくように努めていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・一部の職員にプログラム作成が偏ってしまっているので、様々なアイデアを全職員が考えて取り入れていく仕組みが必要。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・ある程度週間予定表に沿って集団や個人プログラムはあるが、固定化しないように配慮していく。また、体験型のプログラム(収穫・作業)も随時取り入れていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・コロナも落ち着いてきたので、週間予定表と外出・行事を復活させていく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・日々の変化に対応できるように計画している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		・朝、簡単な打ち合わせ及び全職員間で共有できるLINEワークスを導入し、必要事項・支援内容を確認している。

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・送迎終了後に本日の各児童の様子などを職員間で共有しており、不在職員には連絡ノートに記録・支援日誌にて確認するようにしている。	
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・毎日利用時には連絡ノート支援日誌を記録している	
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・送迎時などで日々の様子などを直接保護者に聞き取り及び・面談などを通じて計画を策定している。	
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		・地域との交流がほとんどないため、出来る限り実行していく。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・必要に応じて参画している。	
	⑩⑪	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・利用児童の特別支援学校・小学校との情報共有は必要に応じて行っている。	
	⑩⑫	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・現在は医療的ケアが必要な児童の利用はない。	
	⑩⑬	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・必要に応じて情報共有している。	
	⑩⑭	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・相談支援センターとの連携を図り、必要な情報を提供していく。	
	⑩⑮	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・現在は行っていないため、必要に応じて実施していく。	
	⑩⑯	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・地域の行事などに参加はしていないが、今後機会があれば参加をしていく。	
	⑩⑰	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	・現在は参加していない。	
	⑩⑱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時・連絡ノート・LINE等でお互いに情報交換を行っている。	
	⑩⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・必要に応じて行っていく。	
		⑩⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・利用契約時に丁寧な説明をするように努めている。
		⑩㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・必要に応じて対応している。
⑩㉒		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・コロナにより開催はしていない。状況に応じて対応していく。	

保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・適切に対応できるように整備している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	・今年度は通信は発行できなかったため、年4回発行を目指していく。行事予定についてもLINEを活用し発信していく。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか			○	・保護者評価にて「会話の中で他児童の情報を話している職員がいたので気を付けてほしい」との指摘があり、再度全職員に対して取扱いに十分に注意するように指導していき、研修も随時行っていく。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・障害特性に応じた意思疎通・情報伝達を行っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・実施していない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	・マニュアルについて整備しており、随時状況により変更している。ただ、職員・保護者共に周知不足な事もあるので、引き続き会議・面談等で最新のマニュアルの周知をしていく必要がある。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年2回消防署立ち合い避難訓練を実施して
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・県・社協主催の研修には全職員受講している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	・記載が必要な児童はいないが、必要に応じて対応していく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	・該当者はないが、利用契約時にアレルギーの有無を確認している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・引き続き些細な事でも報告し、全職員が共有するようにしている。